

THREEUP

THREEUP

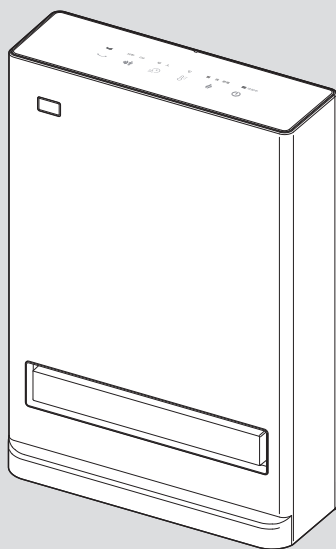
人感・室温センサー付左右自動首振り

大風量※セラミックヒーター

CH-T2692

※「大風量」は当社従来品との比較です。

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1 ~ 3
パッケージ内容	3
別売品	3
仕様	3
各部のなまえ	4

ご使用の前に

設置について	5
--------	---

ご使用方法

運転する（連続運転）	6
停止する	7
暖房運転を切り替える	8
オフタイマーを使う	9
オンタイマーを使う	10
温度設定を使う	11
人感センサーモード （自動運転）	12 ~ 13
首振り運転する	13

点検・サービス

お手入れと保管方法	14 ~ 15
コンセントの点検	16
故障かな?と思ったら	17
保証・サービス	18

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

	この図記号は「禁止」されている内容です。		この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、けがの原因になります。



プラグを抜く

長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体を水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

次のような方だけで使ったり、触れさせたりしないでください。

- 乳幼児や小さなお子様
- 取り扱いに不慣れな方
- 日常生活で介護者の支援が必要な方
- ご自分で体温調節のできない方

感電やケガ、事故の原因になります。
ご使用になる場合は、保護者や介護者など周りの方が必ず付き添い、万全な注意を払ってください。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。

絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。

動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

本体のすき間にピンや針金などの異物を入れないでください。

感電や故障の原因になります。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。

火災ややけどの原因になります。



禁止

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

本体の変形によるショート、発火の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。

コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

引火性のもの(殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しないでください。

また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

長時間、身体の同じ場所を温め続けしないでください。

やけどや低温やけどの原因になります。
特に皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。

過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

温風吹出口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。

衣類やカーテンなどで温風吹出口や吸気口がふさがれたり、本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちる原因や、発熱による火災の原因になります。

警告

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグや電源コードを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重い物をのせたり、機器に挟み込んだり、損傷した物を使用したりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。
誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。



必ず守る



接触禁止

就寝中や外出中には使用しないでください。
火災、事故の原因になります。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。
設置場所について、P.5「設置について」を必ずご確認ください。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音が生ずる。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

運転中と運転停止直後は温風吹出口に触れないでください。

高温になっているため、やけどのおそれがあります。

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。
故障の原因になります。

吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。また、運転中に吸気フィルターを取り外さないでください。

本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、事故や故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。
移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

薬品などの周囲では使用しないでください。
本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

壁や家具の近くで使用しないでください。
過熱による変形や変色、火災の原因になります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

犬や猫などのペット用には使わないでください。

ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



禁止



禁止

⚠ 注意



禁止

衣類の真下に設置しないでください。
衣類が落下すると、吸い込みによる故障の原因となります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

- 落下、転倒などにより、ケガや事故、故障の原因になります。
- 安定した水平な場所に置かれていないと転倒時自動オフスイッチが働き、運転が停止します。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。

転倒、破損によるケガや事故の原因になります。



必ず守る

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

- 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。
- 人感センサーが汚れていると、作動しなかったり誤作動したりする場合があります。

人感センサー部周囲の環境に注意して設置してください。

設置環境について、P.12「人感センサーモード（自動運転）」をご確認ください。



接触禁止

温風吹出口や吸気口の内部に指を入れないでください。

ケガの原因になります。

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本 体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1

別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	商品単価（税別）
吸気フィルター	1	500 円

仕様

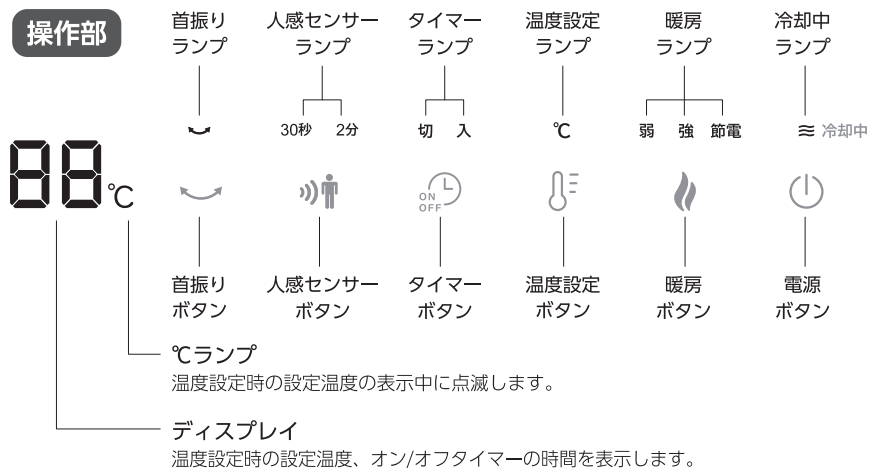
本体サイズ	幅26×奥行15×高さ38cm	本体重量	約2.4 kg
材質	PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	強(50Hz/1200W、60Hz/1100W)、弱/800W、節電/600W	運転モード	ヒーター 3段階切替(強/弱/節電)、人感センサー(自動運転)、温度設定(18～30℃)、
自動首振り	左右約60°	オン/オフタイマー設定	1～8時間(1時間単位)
自動オフタイマー	約10時間	機能	メモリー機能、滅灯機能
1時間あたりの電気代	約37.2円(強/1200W連続運転時)	安全装置	サーモスタット、温度ヒューズ、転倒時自動オフスイッチ
コード長	約1.5 m	—	—

※ 製品は改良のため、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

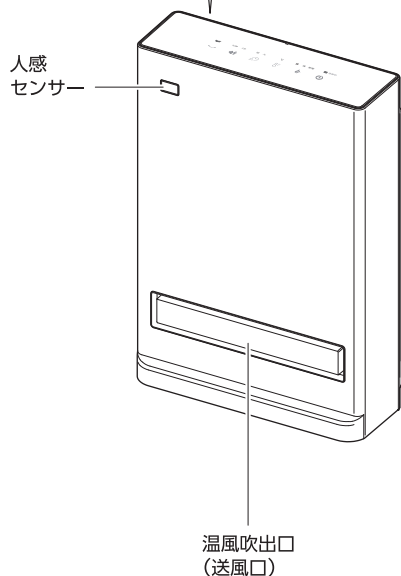
※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh(税込)で計算した際の目安となります。

各部のなまえ

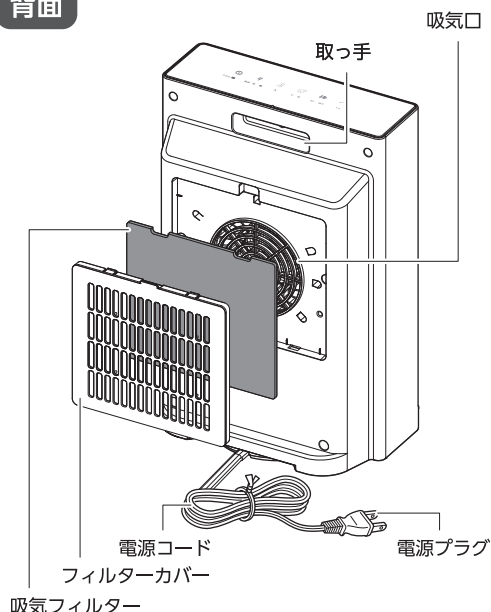
操作部



正面



背面



ご使用の前に

設置について

■ 設置場所



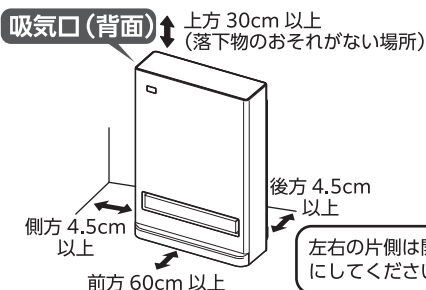
警告



必ず守る

下図の設置距離を必ずお守りください。

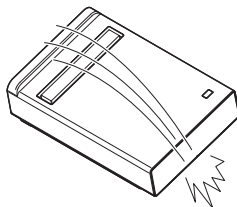
- 左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
- カーテン、ふとん、新聞など燃えやすいものの近くで使用しないでください。また、本体の上に物をかぶせないでください。
- 本体背面の吸気口が壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平な場所に設置してください。
- 毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置しないでください。転倒して火災の原因になります。
- 首振り運転時は温風吹出口の向きが左右に動きます。温風吹出口の向きに注意して壁や障害物から十分に距離をとって設置してください。



■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりした時に自動で運転を停止します。

- 転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続きご使用の場合は、水平な床面にもう一度設置して『電源』ボタンを押してください。
- 本体を動かしたときにカラカラと転がるような音がすることがありますが、これは転倒時自動オフスイッチの動作音です。故障ではありません。



■ 安全装置

温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

ご使用方法

運転する(連続運転)

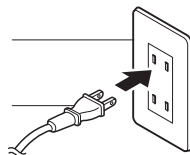
初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分の臭いがすることや、まれに少量の煙が出る
ことがあります。故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。

“ピッピッ”と電子音が鳴って、全てのランプとディスプレイ
が点灯したあとに消灯し、待機状態になります。

コンセント

電源プラグ



- ② 本体の『電源』ボタンを押します。

『暖房』ランプ「弱」が点灯して、「弱」で運転を開始します。

- ボタン操作時は“ピッ”と電子音が鳴ります。

メモ

本機の操作ボタンは押しボタン方式です。
電子音が鳴るまで押してください。

操作部



ご使用方法

停止する

運転中に本体の『電源』ボタンを押します。

“ピーッ”と電子音が鳴って各ランプが消灯し、内部冷却のため約30秒間の送風運転したあと、運転が停止します。

送風運転中は『冷却中』ランプが点灯します。送風運転が停止すると『冷却中』ランプは消灯します。

操作部



警告



接触禁止

運転中と運転停止直後は、温風吹出口の周囲に触れないでください。
高温になっているため、やけどのおそれがあります。

注意



必ず守る

- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押し、『送風運転の停止』を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

自動オフタイマー機能

電源の消し忘れを防止するため、最後の操作から約10時間後に自動停止します。

※人感センサーモード設定中は、自動オフタイマー機能は働きません。

減灯機能

約60秒後に減灯機能が働き、ディスプレイ表示と各ランプが暗くなります。

メモリー機能

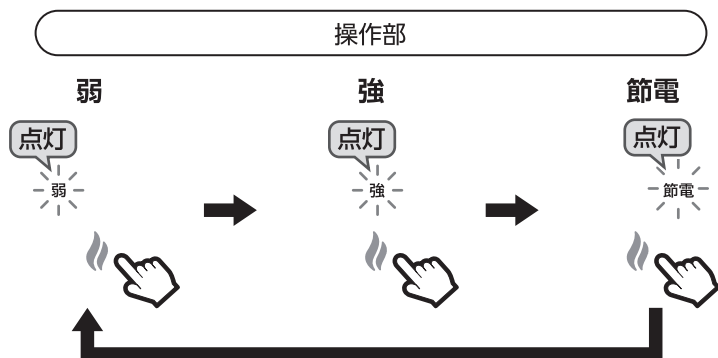
一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。
(オフタイマー設定は除く)

初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは、「弱」で運転を開始します。

暖房運転を切り替える

運転中に本体の『暖房』ボタンを押します。

『暖房』ボタンを押すたびにヒーターの動作が「弱」、「強」、「節電」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『暖房』ランプも切り替わります。



メモ

- 「弱」と「強」と「節電」の切り替えはヒーターの発熱量を切り替えるもので、温風の風量は変わりません。
- 暖房運転の切り替え時に、“カチッ”と内部スイッチの動作音が鳴ることがあります。異常や故障ではありません。

ご使用方法

オフタイマーを使う

■ オフタイマーについて

1 ～ 8時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーの設定のしかた

- ① 運転中に本体の『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイが時間設定表示に切り替わり、「ー」の表示で点滅します。
- ② ディスプレイの点滅中に『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。
『タイマー』ランプ「切」が点灯し、『タイマー』ボタンを押すたびに設定時間が1時間ずつ増えます。
点滅時間は約5秒間です。点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた時間で設定されます。
- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイの表示が消灯すると、設定完了となります。

■ オフタイマーの解除のしかた

解除する場合は、ディスプレイに「ー」と表示されるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押します。
『タイマー』ランプ「切」とディスプレイの表示が消灯します。



オンタイマーを使う

■ オンタイマーについて

1 ～ 8時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

■ オンタイマーの設定のしかた

- ① 待機中に本体の『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイが時間設定表示となり、「ー」の表示で点滅します。
同時に停止前に動作していたランプが点灯します。
- ② ディスプレイの点滅中に『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。
『タイマー』ランプ「入」が点灯し、『タイマー』ボタンを押すたびに設定時間が1時間ずつ増えます。
点滅時間は約5秒間です。
- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。
オンタイマーの設定中は、運転が開始されるまでディスプレイに残り時間が表示され、『タイマー』ランプ「入」が点灯します。

メモ

オンタイマーで設定した時間が経過すると、“ピッ”と電子音が鳴り、設定時に記憶された動作で運転を開始します。

■ オンタイマーの解除のしかた

解除する場合は、本体の『タイマー』ボタンを押してディスプレイを点滅表示させ、「ー」と表示されるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押すか、『電源』ボタンを押します。

オンタイマーの設定完了後に『電源』ボタンを押すと、オンタイマーの設定はリセットされ、運転を開始します。



■ 運転開始時の動作設定と変更のしかた

『電源』ボタン以外のボタンを押すと、動作設定を変更することができます。

設定した動作のランプが約5秒後に消灯すると設定完了となります。

温度設定を使う

■ 温度設定について

- 温度設定中は、設定温度と周囲温度の差にあわせて、次のように自動で動作が切り替わります。

設定温度と周囲温度の差	動作	暖房ランプ
設定温度<周囲温度	節電	「節電」点灯
1～3℃	弱	「弱」点灯
4℃以上	強	「強」点灯

※ 本体の周囲温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する温度となります。

- 設定可能な温度は18℃～30℃です。
- 温度設定中は、ヒーターの動作（「弱」、「強」、「節電」）を切り替えることはできません。

注意

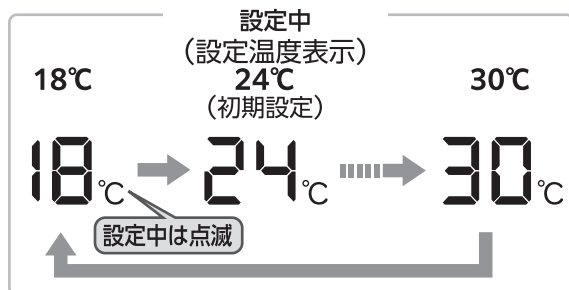
周囲温度が設定温度を超えた場合は、暖めすぎを抑えながら運転を続けるため、消費電力の低い「節電」運転に切り替わります。運転は自動では停止しないため、使用環境によっては周囲温度がさらに上昇することがあります。室温が高くなりすぎる場合は、運転を停止してください。

■ 温度設定のしかた

- ① 運転中に本体の『温度設定』ボタンを押します。
ディスプレイが設定温度表示に切り替わって点滅し、『温度設定』ランプが点灯します。
- ② ディスプレイの点滅中に『温度設定』ボタンを押して温度を設定します。
『温度設定』ボタンを押すたびに設定温度が1℃ずつ上がります。
点滅時間は約5秒間です。点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた温度で設定されます。
- ③ 温度を設定したあと、ディスプレイの表示が消灯すると、設定完了となります。『温度設定』ボタンを押すと設定した温度を確認することができます。

ディスプレイ表示

操作部



■ 温度設定の解除のしかた

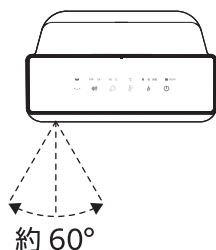
解除する場合は、『暖房』ボタンを押します。

人感センサーモード(自動運転)

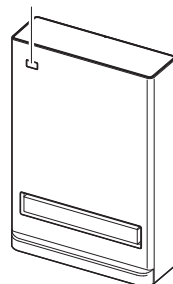
■ 人感センサーモードについて

人感センサーモードは人の動きを感知して、自動的に運転・停止を行います。

■ 人感センサーの感知範囲



人感センサー



感知距離は、約2m以内です。

■ 設置環境

- 人感センサーは熱の変化に反応するため、次のような場所では作動しなかったり、誤作動したりする場合があります。
 - ・ カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
 - ・ 人感センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
 - ・ エアコンなどの送風を受ける場所
 - ・ 温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
 - ・ 湿度の高い場所や加湿器の近く
- 人がいても、ゆっくりとした動きや速い動き、小さい動き、じっとしているときなどには人感センサーは感知しません。
- ペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

ご使用方法

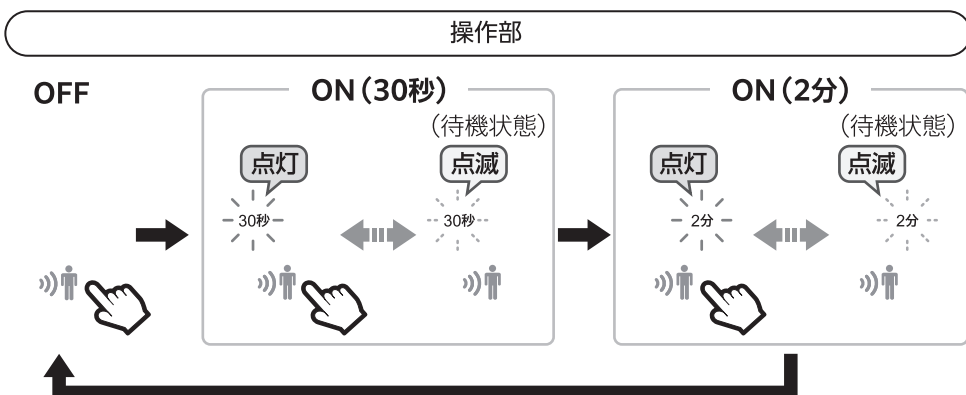
■ 人感センサーモードを設定する

運転中に本体の『人感センサー』ボタンを押します。

『人感センサー』ボタンを押すたびに人感センサーモードが「ON(30秒)」、「ON(2分)」、「OFF」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『人感センサー』ランプも切り替わります。

メモ

- 人感センサーモードが「ON(30秒)」設定時は30秒、「ON(2分)」設定時は2分間、連続で人を感知しないと『人感センサー』ランプが点滅して待機状態となり、送風運転(約30秒間)したあとに運転を停止します。
待機中に人感センサーが人を感知すると"ピッ"と電子音が鳴り、『人感センサー』ランプが点灯して運転を再開します。



首振り運転する

■ 首振り運転のしかた

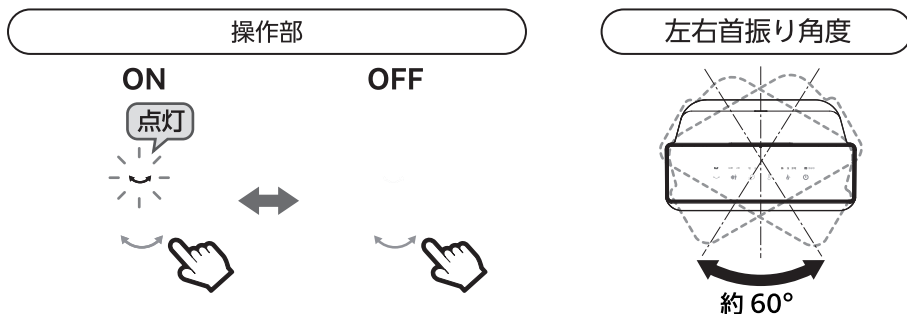
運転中に本体の『首振り』ボタンを押します。

『首振り』ランプが点灯し、左右方向に約60° (左右30°) の首振り運転を開始します。

■ 首振り運転の解除のしかた

もう一度本体の『首振り』ボタンを押します。

『首振り』ランプが消灯し、『首振り』ボタンを押した位置で停止します。



お手入れと保管方法



警告



必ず守る

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分に冷えてからお手入れをしてください。
感電やケガ、やけどの原因になります。

各部のお手入れは2週間に1回以上行ってください。

■ 本体と人感センサーのお手入れ

ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。そのあと乾いた柔らかい布で拭いて、十分に乾かしてください。

お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

人感センサー



温風吹出口

■ 温風吹出口のお手入れ

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

温風吹出口の変色について

ご使用方法、ご使用状況によっては温風吹出口が変色する場合がありますが、性能や安全性に問題はありません。

また変色や変形の原因になりますので、次のようなご使用方法は避けください。

- 温風吹出口、吸気口、吸気フィルターにホコリが詰まった状態での使用
- 吸気口、温風吹出口付近に障害物がある状態での使用
- 机の下など狭く囲まれた場所での使用

■ 吸気口のお手入れ

お願い

吸気口および吸気フィルターは、本機の性能を維持するため、2週間に1回以上お手入れをしてください。

フィルターカバーを取り外してお手入れをしてください。

- ① フィルターカバーのつまみに指をかけ、手前に引いて取り外します。
- ② フィルターカバーから吸気フィルターを取り外します。
- ③ 各部のお手入れをします。

フィルターカバー

本体と同じ方法でお手入れをしてください。

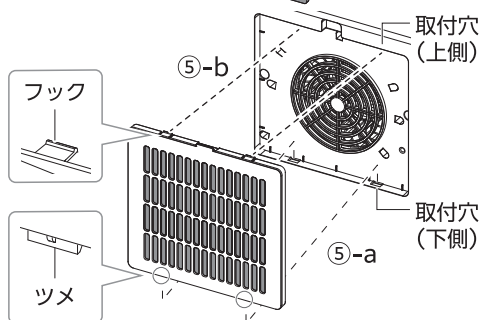
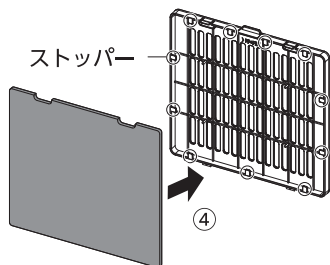
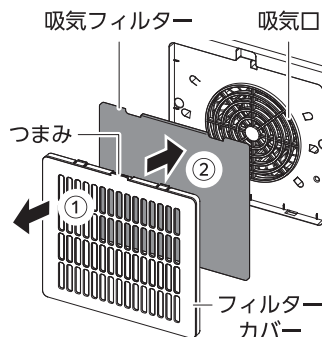
吸気フィルター

水洗いをしてください。掃除機でのお手入れは吸気フィルターが破れたり、吸い込まれたりするおそれがありますので、お避けください。お手入れ後は陰干しして十分に乾かしてください。

吸気口

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

- ④ 吸気フィルターをフィルターカバーに装着します。
フィルターカバー内側のストッパー(11か所)に引っ掛けてください。
- ⑤ フィルターカバーを本体に取り付けます。
a. フィルターカバー底面のツメ(2か所)を、
本体下側の取付穴に差し込みます。
b. フィルターカバーのフック(2か所)を、
本体上側の取付穴に引っかけます。



■ 吸気フィルターの交換時期

吸気フィルターが破れたり、汚れがひどくなったりした場合などは交換してください。
吸気フィルターをお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

■ 保管方法

- お手入れのあと、各部の水分をよく拭き取り、陰干しして十分乾燥させてください。
湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- 本体にポリ袋をかぶせてお買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

コンセントの点検

●コンセントなどの配線器具には寿命があります。

経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

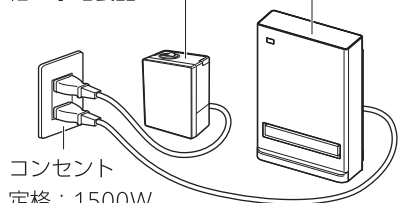
誤った使いかたの例



定格容量いっぱいを使用する

他の家電製品

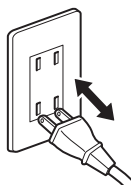
ヒーター



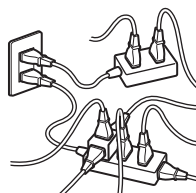
定格：1500W



電源プラグを斜めに抜き差しする



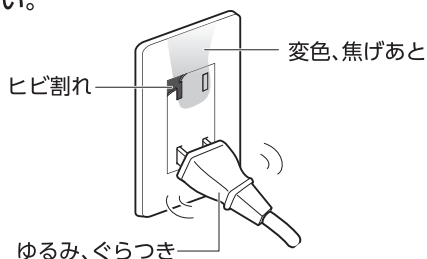
タコ足配線する



●下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- 電源プラグの抜き差しがゆるい。
- 電源プラグやコンセントが触れられないほど熱い。
- 表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- 表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



⚠ 注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。
焼損や火災、事故の原因になります。

長年ご使用の製品はよく点検をおこなってください。

●このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが触れられないほど熱い。（別のコンセントに差し直しても熱い）
- 電源コードや電源プラグが破損した。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

故障かな?と思ったら

スリーアップカスタマーサポートにご連絡いただく前に、下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
運転しない	- 電源プラグが外れている。 - 電源が「OFF」になっている。 - 内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている。 - 正しいボタン操作ができていない。	- 電源プラグをコンセントに接続してください。 「電源」ボタンを押してください。 - 本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷めてから再度運転をしてください。 - 本機の操作ボタンは押しボタン方式です。電子音が鳴るまで押してください。
温風が出ない	- 吸気口や吸気フィルターが汚れている。 - 人感センサーモードを使用している。	- 吸気口や吸気フィルターのお手入れをしてください。 - 人感センサーモードを「OFF」にして、ご確認ください。
電源を切っても停止しない	運転停止直後である。	運転停止直後は、ヒーターの冷却のため約30秒送風が続きます。故障ではありません。
運転音大きい	- 不安定な場所に設置している。 - 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。	- 安定した水平な場所に設置してください。 - 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口のお手入れをしてください。
異臭がする	- はじめて運転をしたため。 - 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。	- はじめてご使用になる時は、ににおいや、まれに少量の煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になります。 - 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口のお手入れをしてください。
人感センサーが感知しない	- 人感センサーモードに設定されていない。 - 人感センサーに直射日光が当たる場所や、カーテンなど風で揺れるものの近くに設置している。 - 人感センサーの感知範囲を超えている。	「人感センサー」ボタンを押して人感センサーモードに切り替えてください。 - 設置環境について、P.12「人感センサーモード(自動運転)」をご確認ください。 - 人感センサー感知範囲内でお使いください。
電源が落ちる	自動オフタイマーが作動した。	「電源」ボタンを押して運転を再開してください。
ディスプレイに「E1」または「E2」が表示された	製品内部が故障している。	直ちに使用を中止して、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。
ディスプレイに「E3」が表示された	- 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。 - 製品内部の温度が上がり過ぎています。	- 吸気口や吸気フィルターのお手入れをしてください。 - すべてのボタン操作が無効です。ディスプレイの表示が消えるまでお待ちください。消えたあと、電源ボタンを押して運転を再開してください。
カラカラと転がるような音がする	転倒時自動オフスイッチが動いている。	本体を動かしたときに音がする場合は、転倒時自動オフスイッチの動作音です。故障ではありません。
本体がぐらつく	左右首振り機構が本体底面にある。	左右首振り機構の構造上、少しぐらつきます。故障や異常ではありません。
電源プラグが熱い	消費電力が高いため、使用中は電源プラグの温度が上がる。	異常や故障ではありません。ただし、触れられないほど熱いと感じる場合は、別のコンセントで確認してください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。